

テーマ展示「化石を楽しむ 2026」を開催します



大阪市立自然史博物館では、令和8年10月17日（土）から11月8日（日）まで、テーマ展示「化石を楽しむ 2026」を実施します。

毎年10月15日は、日本古生物学会が指定する「化石の日」です。「化石の日」は、「化石や古生物学の認知度を高め、生命や地球の歴史への人々の興味関心を高めるきっかけになり、すべての人が化石を楽しむ日に」という趣旨で始まりました。

今年も「化石の日」にちなんで化石の展示を行います。令和8年度は「化石を楽しむ 2026」と題して、普段は収蔵庫に保管している化石標本から、古生代の無脊椎動物化石、中生代の植物化石と新生代の脊椎動物化石を展示します。また、当館で実施している「アロサウルスの復元骨格に関する寄付」についても紹介し、ご協力をお願いしていきます。

関連行事として、10月24日（土）に古生物学セミナー2026を実施します。今年は、瑞浪市化石博物館の学芸員である安藤佑介さんに、2022年に瑞浪市で見つかったパレオパラドキシアの全身骨格化石について、発掘の経緯や研究成果などについて講演していただきます。

■開催概要

- 1.名 称：テーマ展示「化石を楽しむ 2026」
- 2.会 期：令和8年10月17日（土）～11月8日（日）
- 3.開館時間：10月31日（土）まで：9時30分～17時00分（入館は16時30分まで）
11月1日（日）から：9時30分～16時30分（入館は午後16時まで）
- 4.休 館 日：月曜日
- 5.場 所：大阪市立自然史博物館 本館1階 ナウマンホール
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23
TEL:06-6697-6221（代表） FAX:06-6697-6225
地下鉄Osaka Metro「長居」駅下車3号出口・東へ800m、JR阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1,000m
ホームページ：<https://www.omnh.jp/>
- 6.観 覧 料：常設展入館料（大人300円、高大生200円）
※中学生以下、障がい者手帳など持参者（介護者1名を含む）、大阪市内在住の65歳以上の方は無料（要証明）。30人以上の団体割引あり。

■主な展示

- ・ニッポニテス（異常巻きアンモナイト）
- ・古生代の無脊椎動物化石
- ・中生代の植物化石
- ・新生代の脊椎動物化石
- ・「化石の日」関連イベントの紹介

■関連行事

古生物学セミナー2026「謎の奇獣パレオパラドキシアにせまる～瑞浪市で新たにみつかった全身骨格～」

パレオパラドキシアは、約 2300 万年前～1200 万年前の北太平洋沿岸域に生息していた東柱目に属する絶滅した海生哺乳類です。2022 年 6 月に、岐阜県瑞浪市釜戸町かまどの土岐川河岸に露出する瑞浪層群しゅうくのほうら宿洞層（約 1650 万年前）から、ほぼ全身の骨格が発掘されました。本講演では、パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の発見、研究、展示に至る過程を中心に話を展開するとともに、この生物の研究史についてもお話しします。

日 時：令和 8 年 10 月 24 日（土）13 時 30 分～15 時（開場 13 時）

講 師：安藤佑介（瑞浪市化石博物館）

場 所：大阪市立自然史博物館 本館 1 階 講堂

行事形式：講演会および YouTube を使った同時配信

定 員：先着 170 名（講堂での聴講）

参 加 費：無料（博物館での聴講の場合は入館料が必要）

そ の 他：

- ・11 月 23 日（月・祝）まで見逃し配信を行います。同時配信を見られない方はご覧下さい。
- ・会場にお越しの先着 100 組にオパラドキシア瑞浪釜戸標本のガイドブックをプレゼントします。
※冊子がなくなり次第終了します。

申込み：不要です。

問合せ：地史研究室 前川

■その他

「アロサウルスの新復元骨格導入に対する寄附金」の募集について

大阪市立自然史博物館のアロサウルス復元骨格は、1974 年の開館時に、ユタ大学自然史博物館の復元骨格の複製品として導入されたものです。しかし、そこから半世紀近い間の古生物学の進展は骨をつなぐ筋肉の付き方、コンピューターによる動き方のシミュレーションなどにより画期的に変化しています。自然史博物館では、同じ生物の復元でも研究によりこれだけ姿を変えることを展示するため、現有の復元模型に加えて新しい復元を追加するための寄附を募っています。

https://omnh.jp/2about_page/kifu

■広報用画像

※これらの写真は広報目的でのみご利用いただけます。ご希望の方は、下記問い合わせ先までお知らせください。

ゼンマイのような形をしたオウムガイ類（リチュイテス）の化石



ポトザミテス（裸子植物球果類）の葉化石



大阪市中心部から発見されたウマの右大腿骨（上）と右脛骨（下）の化石。スケールバーは10cm。



ニッポニテスの殻の化石



古生物学セミナー2026（サムネイル画像）

古生物学セミナー2026

謎の奇獣パレオパラドキシアにせまる
～瑞浪市で新たにみつけた全身骨格～

講師：安藤 佑介
(瑞浪市化石博物館・学芸員)

日時：10月24日（土）13：30～15：00
開場：13：00～
場所：大阪市立自然史博物館 本館1階 講堂

画像提供：
瑞浪市化石博物館

■広報に関する問合せ

大阪市立自然史博物館 総務課 広報担当
TEL：06-6697-6222 FAX：06-6697-6225
E-mail：shizenshikoho@ocm.osaka